

第二回「鶴川第一小学校改築計画検討委員会」会議録

日時：2012年4月6日（金）15：00～16：15

場所：鶴川第一小学校 家庭科教室

出席者：【委員】

金子委員（野津田町内会） 佐藤委員（野津田町内会）

新倉委員（小野路町内会）

八木委員・亀崎委員（鶴川第一小学校PTA）

村上委員（鶴川第一小学校長） 坂本委員（学校教育部長）

【関係職員】

佐藤施設課長 田中学務課長 高橋保健給食課長 小池指導課長

安齊統括指導主事

金子営繕担当部長 高原営繕課長 営繕課職員2名

【事務局】

内山教育総務課長 小瀬村教育総務課担当課長

施設課常盤 教育総務課持田

【設計事務所】

イツミ設計担当片山

【会議録】

1. 4月人事異動に伴う挨拶

坂本学校教育部長 内山教育総務課長 田中学務課長

金子営繕担当部長 高原営繕課長

2. 委員長・副委員長選出について

- ・全会一致にて新倉委員を委員長に選任。

【これより委員長により議事進行】

3. 前回会議録の確認について

事務局より、前回3月16日に開催された会議の内容について確認する。

校舎の老朽化及び児童増に対応するため、改築が必要となる。

具体的計画案 A案（東側校舎を残し、他を改築）

B案（北側に校舎を配置し、前面改築）

C案（校庭側に新校舎を建設）

の3案を提案し、仮設校舎を建設せず、給食の中止は避けることなどを考慮したうえでの具体的改築案を検討して、下記の内容で確認する。

- ・上記条件を考慮すると、現校舎を活用したまま現在の校庭に新校舎を建設していく形で全面改築を実施する。

- ・各種条件を満たすものとしては、校庭の西側に校舎を改築する方法

を第一案とする。

前回の質疑内容の回答について個々に確認する。

- ・土地の高低差を生かした設計とする。
- ・「体育館」「給食室」「校庭の確保」等に配慮する。
- ・「教育活動」「子どもの安全面」に配慮し、極力短期間での改築工事を実施する。
- ・なるべく学校の負担が少なくなるよう、様々な面を考慮したパターンを提案する。
- ・現在非常に長い給食室からの動線を、衛生面での問題からも解消されるような計画、搬入業者の動線と交わらない配慮をする。
- ・教室配置等については、学年単位でなるべくまとめる（上限5クラス）。
- ・普通教室へは、エアコン設置予定
- ・基本パターンとして、回廊型、Z型の2パターンを提示し、Z型についても最長移動距離は160mとして負担を軽減する。
- ・省エネ等への取り組みは、玄関前の湧水利用、エコスクール（エコガラス等）の採用、人感センサー、ソーラーパネル等の設置を検討する。
- ・南側住宅への影響に配慮し、空間を確保する、南側校舎は2階程度にする。
- ・なるべく校庭を広く取れる配置、回りの景観へ配慮する。

これらを総括した留意点として、「工期について」「体育館の使用制限」「給食の実施」「南側住宅への圧迫感の軽減」に配慮し、学校に負担をかけない改築方法を検討することとし、本日資料のとおり2案を提案する。

【前回の内容に関する質疑】

- ・校庭南側にネットがあるが、ある程度の高さがないと住宅側へボールが出てしまう。住民からの苦情もあるので、ネットは高めにしてほしい。六角校舎は風通しが悪い。また、設計に2年もかかるということだが、もっと迅速に建設してほしい。3年も4年もかけると子どもが入れ替わってしまう。
→町田では中学校で10mのネットを設置している。歩道が狭いので、セットバックして歩道を広げ、その際にネットを付け替える予定である。
六角校舎にもエアコンが設置されるので、当面の対応はできるかと考える。工期は19ヶ月になる。これから基本設計となるのでやむを得ないところがある。
- ・いろいろ同時進行にできないのか。時間がかかりすぎるので、とにかく早くやってほしい。
ただし、早くやってほしいという部分と、子どもたちの教育活動を

- 確保するというを同時に確保することはなかなか難しい。
- これから説明する2案はいずれも体育館を使用できる状態で、最後に体育館を解体することとしている。全体工事期間としてはプラス1年かかる。
- ・入学式もできない状況では困る。工事期間に在籍している児童の体育活動へも配慮したい。体育もでき、さらに立派な校舎の建設をお願いしたい。小学校時代の1年間の成長は目覚ましいものがある。1日でも早く新校舎を完成してほしいし、同時に工事期間の教育活動の確保への配慮も望むところだ。いろいろな経験を生かし、いいものにしてほしい。

4. 改築計画について

前回の各種意見（「3. 前回会議録の確認について」参照）を踏まえて2案を資料により説明する。

回廊型（第7案）、Z型（第8案）各1案を提案する。

今回提示の西側校舎案を基に作成した、回廊型校舎案（第7案）の主な特徴は以下のとおり。

- ・普通教室を南側1階・3階建て、北側を4階建てとする。
- ・管理・特別教室を東西配置3階建てとする。
- ・既存体育館・プール棟は新校舎・給食棟工事に絡まない。
- ・屋上は傾斜屋根とする。（太陽光パネル設置）
- ・回廊型校舎の一部を開放し、中庭と校庭とが一体となる動線を確認している。

次にZ型校舎案（第8案）の主な特徴は下記のとおり。

- ・普通教室南側2階建て、北側4階建てとする。
- ・管理・特別教室を4階建てとし、南北校舎全長を短縮する。
- ・既存体育館・プール棟は新校舎・給食棟工事に絡まない。
- ・屋上は傾斜屋根を基本とする。

【提示された2案についての質疑等】

○屋根形状について

- ・太陽光パネルは傾斜屋根に設置するのか。
→陸屋根より傾斜のほうが雨漏りも少なく、断熱効果も高い。

○南側ネットについて

- ・校庭南側のネットは高いものを設置してほしい。サッカーだけでなく、野球も考慮してほしい。
→ネット高の調整に関連し、サッカーコートの大さを図面に当てはめてみると目安になると思うので、次回配布図面に載せることとする。

○体育館・プールの建設について

- ・プールと体育館は２期工事になるのか。
 - 体育館は２期目となるか、プールは建て替えるかは現段階では未定。
- 昇降口の広さ及びトイレの配置について
 - ・昇降口の大きさを広げることにはできないのか。また、普通教室前にトイレの配置があるのはどうか。
 - 昇降口を広げると南北に長くなり、校庭が広く確保できる。走るところだけが校庭ではなく、人溜りの部分も必要となる。
 - 現状で教室配置が確定しているわけではないので、いろいろご意見をいただいている。六角校舎のぎりぎりまで持っていくことは可能。ただし既存校舎の出入り確保や足場位置などの確認は必要となる。校庭を広く取りたいなら、北側校舎のトイレを移動させて、片側廊下にするるとさらに北側への移動は可能となる。また、教室の前にトイレが設置してあるのは好ましくない。トイレと教室を離す案もある。学年別のクラス配置を優先しているが、変更は可能と思われる。
 - ・昇降口は、避難経路等を考えたとき、２箇所程度ある方がよいと思うが。
 - ２箇所がよければ設置は可能だが、安全管理の面からいうと１箇所の方がいいという話もある。池田小の事件から１箇所になっている。
 - ・確かに管理上は１箇所のほうがいいかもしれない。非常用の出口は複数箇所に設置していくことになるのではないか。もし狭いなら、広げるしかない。
- 学童保育クラブの配置について
 - ・学童保育クラブも工事箇所にかかるが、どのような配慮ができるか。セットで考える必要がある。
 - 現在そのまま残すこともできるが、狭いという声もある。当然考慮は必要である。

【校舎の基本形決定に関する意見・提案】

- ・風が通るようにZ型の方がいいのではないか。回廊型は見た目はいいが、校庭が狭くなる。
- ・昔から水が湧いて、水はけが悪い。校庭の水はけにも配慮してほしい。
 - 北側校舎跡地は景観条例にも絡み、ビオトープとして活用していきたいと考えている。湧き水を生かした湿地、田んぼのような利用を考えたい。（下水道計画と連携して）
 - 校庭整地も考えている。
- ・校舎建て替えの跡に、六角校舎跡地にプールをもっていくと校庭が広く取れる。

- 体育館を壊すので、その跡地にプールを作ってもいい。
- ・ 現在の場所にプールがあるのは無駄なように思う。
- ・ 回廊型がいいという人はいない。格好はいいが。
- ・ 回廊型の中庭をグラウンドとつなぐのは、子どもたちがちょっと使うのにちょうどいい。運動場と行き来ができおもしろい。
- ・ エアコンはあるとはいっても、やはり風通しのいい配置がいいと思う。風通しなどを考えるとZ型の方がいいように思う。
 - エアコンはつけるが、節電対策との絡みもあり、夏場でない中間期の風通しには配慮が必要である。
 - 総経費は校庭整地も含め30億円くらいを見込んでいる。面積は19000㎡あり、敷地が広いので、校舎を残しながら校庭側に改築する計画が可能になる。児童人数としては、学務課のデータでは、27クラス・850人、4年後くらいには全学年5学級を想定している。
- ・ 105年の伝統がある学校なので、いいものにしてほしい。
- ・ ビオトープ構想は非常に夢があっていい。隣の幼稚園や近隣の高齢者が立ち寄れるような場所になるといい。名所になるようなものができればいい。現在児童が小野路で田んぼを作っているが、学校で可能になるのではないか。
- ・ 南側校舎に関して、懸念を示した住民もいる。
 - 南側校舎の対策として、歩道を広げて植栽を設ける予定である。関係する住民には、模型を提示してきちんと説明をする。ボールが出てしまうことも考慮した対策を講じるつもりである。次回は外構を図面上に入れて提示する。

【意見・提案のまとめ】

- ・ 校庭側のネットは、通常中学校で設置する10m程度のものを設置する。
 - ・ 設計等には余り時間をかけずに、できるだけ迅速に対処してほしい。
 - ・ 昇降口の位置について、少し工夫をしてほしい。
 - ・ トイレはなるべく教室から離して設置する。
 - ・ 現在の学童の位置にも校舎が配置されることになるので、学童もセットで考えていく。
 - ・ 校庭の水はけにも配慮する。
 - ・ プールの建て替えについては保留とする
 - ・ 校舎配置案は基本的にはZ型とする。第8案をベースとして考える。
 - ・ ビオトープ設置について配慮していく。
 - ・ 校庭南側の住民へは今後事前説明などの配慮が必要である。
- 上記まとめを集約して、基本案についてはZ型（第8案）にする方向にて全会一致で了承を得る。

○第3回の予定
4月27日（金）15：00～
鶴川第一小学校家庭科室にて